

科 目	成人・老年看護実習Ⅱ（急性期・回復期看護実習）				
時間数	2 単位 80 時間	授業方法	実習	授業時期	2 年
実習場所	十全総合病院（一般病棟）				
ねらい	入院治療を必要とする対象の理解と急性期・回復期の看護を学ぶ。				
目 標	1. 周手術期・急性期・回復期にある対象がどのような問題を抱え、ニーズを持っているかを理解することができる。 2. 手術療法を受ける対象に対する経過に応じた援助内容と方法が理解できる。 3. 生体機能が急激に変化している対象に対する生命維持と苦痛の緩和、合併症予防のために必要な看護を提供できる臨床判断能力を養う。 4. 対象の生体機能の順調な回復を促し、回復状態に合わせた日常生活自立への援助ができる。 5. 周手術期・急性期・回復期にある成人とその家族への看護のあり方について理解し、自分の考えを述べることができる。				
授業計画					
内容	1. 病棟での急性期・周術期・回復期看護				
評価方法	成人・老年看護学実習Ⅱ評価表、適性態度評価表を総合して評価する				